

ITUAJより

世界電気通信開発会議 (WTDC) は、ITU電気通信開発セクター (ITU-D) における4年に一度の最高意思決定会議であり、次のWTDCまでの会期におけるITU-Dの活動指針及び重点課題、研究委員会 (SG: Study Group) 及びそこで取り扱う研究課題 (Question) の内容及び構成等の議論を行います。世界中で地域準備会合が開かれてきたWTDC-17は、10月9日から20日、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されます。テーマは「ICT for Sustainable Development Goals」- ICT④SDGs」です。

ITUジャーナルでも会合報告記事を掲載しますので、楽しみにお待ちしております。



ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	白江 久純	総務省 国際戦略局
〃	高木 世紀	総務省 国際戦略局
〃	三宅雄一郎	総務省 国際戦略局
〃	網野 尚子	総務省 総合通信基盤局
〃	成瀬 由紀	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	岩田 秀行	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	津田 健吾	日本放送協会
〃	山口 淳郎	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	吉田 弘行	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニック株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	東 充宏	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニー株式会社
〃	江川 尚志	日本電気株式会社
〃	岩崎 哲久	株式会社東芝
〃	田中 茂	沖電気工業株式会社
〃	三宅 滋	株式会社日立製作所
〃	斧原 晃一	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	菅原 健	一般社団法人電波産業会
顧問	小菅 敏夫	電気通信大学
〃	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

5G実現に向けて



富士通株式会社

あずま みつひろ
東 充宏

私がITUの国際標準化活動に関わり始めたのは、今から15年ほど前になります。当時、(株)富士通研究所に在籍していた私は、ITU-Rにおける第四世代移動通信の国際標準化に関わるようになりました。当時は、IMT-Advancedと呼ばれ、ITU-Rでは、SG8のWP8F (現在のSG5 WP5D) で標準化活動が進められていました。特に我々が担当したのは、移動通信システムの所要周波数帯域幅の算出方法に関するものでした。従来、移動通信システムの周波数帯域設計は、古典的な通信トラヒック理論が採用され、勧告M.1390に規定されていました。IMT-Advanced移動通信システムでは、多種多様なサービスカテゴリのトラヒックが発生することが想定され、従来の古典的な算出法では限界があること、また、世界各国が所要帯域幅の見積りのために利用することを想定し、算出法の計算アルゴリズムが簡素化されていることなどが課題となっていました。このため、当時、日本の筑波大学やドイツのアーヘン工科大学などアカデミアと連携し、多様なサービスカテゴリを考慮した算出法について検討が進められました。特に、我々がITU-R WP8Fに提案したもので、回線交換型トラヒック向けにErlang-B式を多次元に拡張した算出法が勧告案として採択され、当時のITU-R SG8において、M.1768として承認されました。その後、欧州のWINNERプロジェクトと共同で、SPECULATORと呼ばれる所要周波数帯域算出ツールが開発され、世界各国が自国での所要周波数帯域の見積りのために利用されることになりました。勧告M.1768は、その後、現在のITU-R SG5 WP5Dで継続検討され、第五世代移動通信 (5G) 向けに2013年4月に改版*されています。皆様もよくご存知のように、5Gは、2020年の実用化を目指して、現在もITUや3GPPなどで標準化検討が進められています。出版編集委員のひとりとして、このような、ITUにおける標準化活動の最新動向を読者の皆様にお届けできるように努めていきたいと考えています。

*Recommendation ITU-R M.1768-1: "Methodology for calculation of spectrum requirements for the terrestrial component of International Mobile Telecommunications" (04/2013)

ITUジャーナル

Vol.47 No.10 平成29年10月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 小笠原倫明

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 森 雄三、大野かおり、石田直子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会